

好評販売中

2023

世界自動車統計年刊

2022年は8,300万台、市場の足踏み続く、BEVシフト本格化へ

- ◆世界88カ国の自動車データを集計、国や地域、自動車メーカーベースで分析・比較!!
- ◆世界各国の2022年自動車市場および産業動向、電動車(BEV中心)関連動向を解説!!
- ◆コロナ禍、ウクライナ戦争の影響を加味した2034年までの世界自動車需要予測を掲載!!

■ 発行：2023年8月28日 ■ 体裁：A4判、405頁 ■ 価格：198,000円(税込) 国内送料込

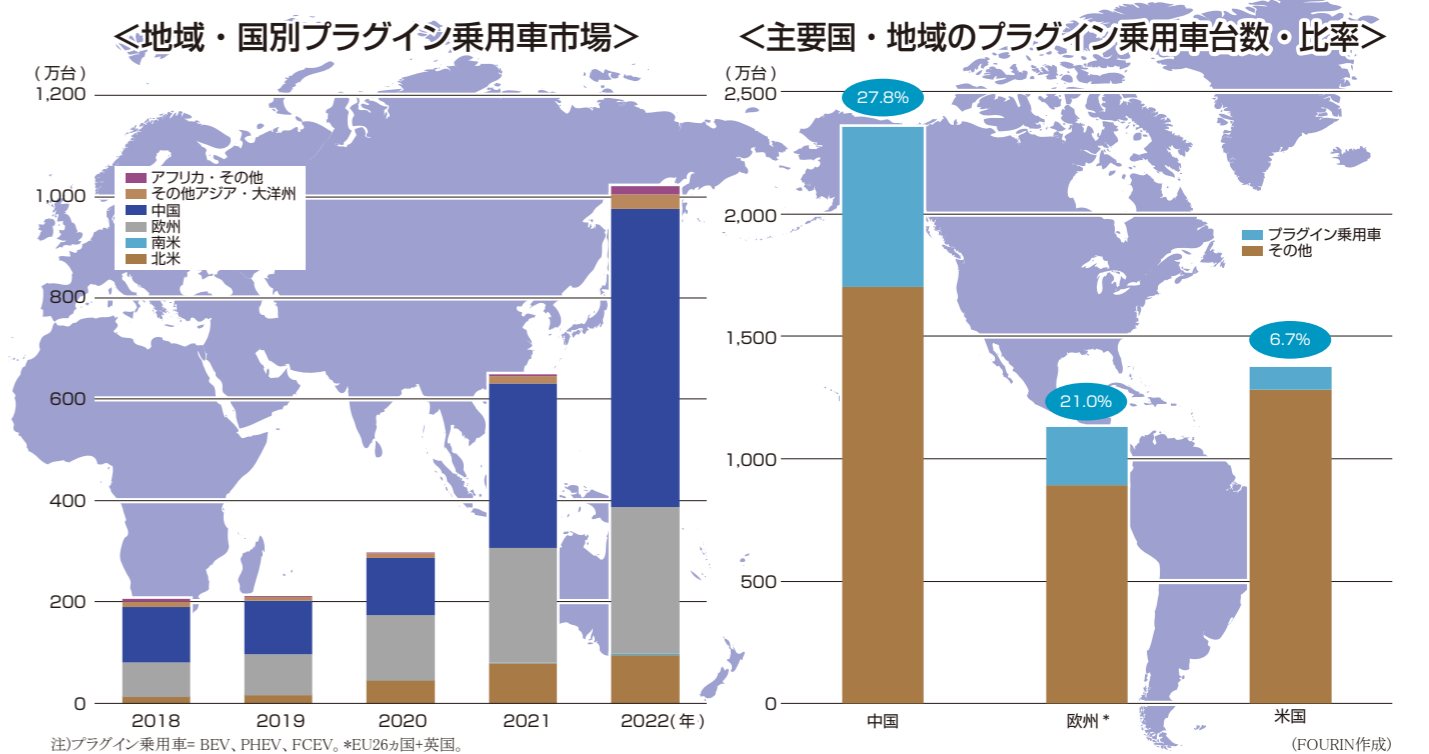
2022年の世界自動車市場は8,284万台と前年並みに留まり、依然として2017~2019年の9,000万台超の水準まで戻りませんでした。コロナ禍対策としての経済活動制限による制約はほぼなかったものの、前半はサプライチェーンの混乱による世界的な部品不足から製品供給が滞り、市場回復スピードを鈍化させました。一方で、電動車は中国や欧州を中心に販売を伸ばしており、2022年にプラグイン乗用車(BEV、PHEV、FCEV)の販売台数は1,000万台を突破し、世界市場に占めるシェアは13%まで拡大しました。

ただし、2022年後半以降、自動車産業を取り巻く環境は好転しつつあります。供給不足は緩和され、市場回復のスピードは多くの国で加速しています。同年2月に発生したロシアによるウクライナ侵攻の直接影響も、想定よりは少ないこともわかってきましたが、コロナ禍の期間に滞溜した3,000万台程度の需要が劇的な市場の回復を喚起する可能性は低いでしょう。ロシア-ウクライナ戦争の直接影響は少なくとも、世界的なエネルギー価格の高騰、インフレ率の上昇を引き起こす間接影響は甚大で、消費者の可処分所得を圧迫し続けているためです。自動車各社には厳しい事業環境の中、電動化シフトを加速しながら収益を確保するための戦略が求められています。

当調査報告書「世界自動車統計年刊2023」は、世界88カ国を対象に、生産・販売を中心に自動車関連の統計を集計、2022年の現状を解説し、生産年齢人口と自動車保有率の見通しをベースとして2023年以降の市場を最新の状況を加味して展望しています。

本案内書をご高覧頂き、関係部署ともご相談の上、ご採用賜りますようお願い申し上げます。

世界・地域・国別プラグイン乗用車販売台数(2022年)



見本頁

ドイツ

販売は2年連続で300万台割れ、乗用車生産の25%が電動車に

ドイツの2022年の自動車販売台数は1年連続で300万台割れとなった。乗用車は前年比11.3%増の299.1万台と推定される。うち乗用車は同12.4%増の348.0万台、電動車(乗用車)の生産は、各OEMで電動化シフトが進んでいることを背景に、同42.9%増の88.5万台となった。2022年6月にVWがHesse工場でのEV生産を開始。また同年7月にBMWが、11月にDaimlerの生産を開始している。

2023年内も、BEVの新モデルの生産増加が見込まれている。FordはEVの生産を開始するMUSTANG Mach-Eの生産を開始し、2023年までにEVの生産を開始する。また、BMWはEVの生産を開始する。また、BMWはEVの生産を開始する。

インド

バックオーダー解消進み過去最高の470万台に成長

2022年の自動車販売台数はインド自動車協会(SIAM)発表の推定値によると、前年比25.7%増の472.5万台となった。2022年の販売は半導体を中心とした部品不足などの影響を受ける一方で、半導体の不足状況が緩和されて、積みあがっていたバックオーダーの解消が進み過去最高の470万台と日本を上回り、世界第3位の規模の自動車市場となった。好景国内向け販売は、自動車生産も拡大。こちらも過去最高の同24.0%増の545.7万台となった。輸出も増えて3年ぶりに車種別に伸びをみせた。EVを中心としたローコスト車も増加傾向にある。2023年までにEVの生産を開始する。また、BMWはEVの生産を開始する。

各国の自動車産業の現状を詳述!!

ドイツの自動車販売(販売・輸出)の推移

インドの自動車販売(販売・輸出)の推移

当調査報告書は書店では取り扱っておりません。申し込み、お問い合わせは、申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送下さい。またE-mailによる受付もっております。

世界自動車産業専門調査会社

FOURIN (フォーイン)

〒464-0025 名古屋市千種区桜が丘 292 7-01ビル

TEL : 052-789-1101 FAX : 052-789-1147

https://www.fourin.jp E-mail : info@fourin.jp

申込書 世界自動車統計年刊 2023

● 体裁:A4判/405頁 ● 2023年8月28日発行 ● 198,000円(税込)、国内送料込

(株)フォーイン行 Fax: 0120-0000-73

年 月 日

御社名 _____

御利用部署名 _____

〒 _____

御住所(送付先) _____

TEL番号 _____ FAX番号 _____

E-mail address _____

(フリガナ) 御担当者氏名 _____ 御役職 _____

通信欄 _____

特集 世界自動車市場見通し 1

- ◇コロナ禍終息でも反動増望めず成長速度は依然緩やか 2
- ◇2022年の世界自動車市場は再び減少、メーカー間の勢力圏に大きな変化 2
- ◇ロシアによるウクライナ侵攻の直接影響は限定的だが、世界的なインフレ傾向が足枷に 3
- ◇世界自動車生産は2022年に8,575万台、上位5ヵ国はともに回復基調、現代自がトップ3グループに 4
- ◇日本メーカー、2022年も世界販売シェア3割水準を維持、BEVシフトの加速が急務 6

第1章 自動車産業・市場動向 11

- 世界自動車販売:1%減の8,262万台、インドが初の3位に 12
- 世界自動車生産:部品不足緩和で6%増の8,586万台まで回復 24

第2章 自動車グループ・メーカー別生産販売動向 35

- 主要グループ地域別販売比率:各社とも中・東欧比率が減少、今後はBEVシフトの影響も 36
- 世界ブランド別販売:トヨタのみが1,100万台水準、現代自が3位に浮上 38
- 主要グループ地域別生産構成:本拠国回帰、本拠国外での生産強化など各社が異なる戦略 69
- 世界メーカー別生産:トヨタGr.は1,100万台を維持、Renault/日産/三菱自に代わって現代自がトップ3入り 71
- 世界生産能力計画:2027年主要各社の能力計画は2023年比6%増、増産計画は北米に集中 87

第3章 世界電動車市場の現状 99

- 世界プラグイン乗用車市場、2022年に1,000万台超え 100
- ◇世界プラグイン自動車(BEV・PHEV・FCEV)販売台数は1,000万台突破、世界自動車市場シェアは12.8% 100
- ◇Teslaが単独でBEV販売100万台超え、プラグイン車メーカーとしては158万台のBYDが最大 101
- ◇世界の公共充電器数は268万基に、急速充電器は33%に留まる 102

第4章 北米 121

- 北米総括 :2022年販売は2年ぶり1,800万台割れも、生産は1,476万台に回復 122
- 米国 :販売は7.7%減の1,420万台も、生産は3年ぶりの1,000万台超 124
- カナダ :2022年販売は8%減の157万台、生産含め環境政策強化 133
- メキシコ :販売は7.6%増も低水準続く、電動車関連の生産投資は活発化 140
- ブルエルリコ :2022年販売は12万台の高水準を維持 148

第5章 南米 149

- 南米総括 :2022年は販売が366万台、生産が303万台まで回復 150
- ブラジル :販売は0.7%減の210万台、2023年1月に左派Lula政権発足 152
- アルゼンチン :販売は6.8%増の39.6万台、南米向け輸出好調で生産は23.5%増 156
- コロンビア :2022年販売は26万台に回復も、2023年は2割減の見通し 158
- エクアドル :2022年販売は14万台と過去最高水準 161
- チリ :2022年販売は45万台と過去最高を更新 163
- ペルー :2022年自動車販売は17.8万台、2023年も横ばいの公算 165
- ウルグアイ :2022年販売は5.5万台まで回復 167
- ボリビア :販売は4.4万台と横ばい、リチウム電池生産体制整備 169
- パラグアイ :2022年は3.6万台の高水準、SUVが乗用車を上回る 170

第6章 西欧 173

- 西欧総括 :2022年の生産は1,050万台、販売は1,190万台 174
- ドイツ :販売は2年連続で300万台割れ、乗用車生産の25%が電動車に 176
- 英国 :乗用車市場のBEV比率は16.6%、電池生産体制整備は停滞気味 182
- イタリア :2022年は製販ともに低調、2023年は回復へ 189
- フランス :販売200万台割れ、生産は141万台と歴史的低水準続く 195
- スペイン :2022年は販売が100万台割れ、生産は各社が投資計画を発表 201
- ベルギー :2022年も製販とも最低水準続くが、BEVシフトが進む 207
- オランダ :2022年販売は40万台割れ、生産は14万台 209
- オーストリア :2022年は製販ともにコロナ禍前の3割以上減少 211
- スウェーデン :2022年は製販ともに減少、低排出車支援策縮小が影響 214
- ギリシャ :販売は11.6万台、電動車補助金策を再導入 216
- ポルトガル :2022年も製販ともに低水準、2023年は回復の兆し 218
- アイルランド :2022年販売は13.1万台、2023年はBEV補助金減額が懸念材料 221
- デンマーク :自動車販売は18万台に落ち込む、BEV+PHEVシェアは4割弱 223
- フィンランド :2022年のプラグインカー比率は4割弱まで上昇 225
- ルクセンブルク :2022年販売は4.7万台、20年ぶりの5万台割れ 227
- リヒテンシュタイン :2022年販売は1,820台、再び過去最低水準まで落ち込む 229
- スイス :2022年販売は26万台、乗用車の代替燃料車比率5割突破 230
- ノルウェー :2022年販売は21万台、2023年からBEV購入支援縮小 232
- アイスランド :2022年販売は1.9万台、プラグインカーシェアは5割突破 234

第7章 中・東欧 237

- 中・東欧総括 :市場は312万台、生産は564万台と大幅減 238
- ポーランド :販売は前年比7%減の52万台、商用車の生産が拡大傾向 240
- ハンガリー :2022年は販売・生産ともに3年連続で減少 242
- チェコ :生産は10%増の122万台、販売は22万台と不振 245
- スロバキア :販売は9万台、BEV生産が数年内に拡大する可能性 247
- ルーマニア :販売は15万台に回復、生産は過去最高の51万台 249
- スロベニア :販売、生産ともに最低水準まで落ち込む 251
- ブルガリア :販売は3.7万台、国内の8割をカバーする充電網拡充政策を導入 253
- キプロス :2022年は1.4万台、政府によるBEV普及支援策を継続 254
- エストニア :2022年販売は2.1万台まで回復 256
- ラトビア :2022年販売は2.6万台に低迷、BEV購入支援策を導入 258
- リトアニア :2022年販売は4万台割れ、BEV購入向けVAT減免策導入 260
- クロアチア :販売は2.7%減の4.4万台、2023年1月からユーロ導入 262
- セルビア :販売は2.9万台、生産台数は8割減で過去最低 263
- ボスニア・ヘルツェゴビナ :販売は回復が続くも2022年も1万台割れ 264
- 北マケドニア :2022年販売は4,918台、8年ぶりの5,000台割れ 265
- モルドバ :2年連続で回復し、2022年販売は7,780台 266
- ウクライナ :2022年は製販ともに過去最低水準、2023年は回復へ 267
- ベラルーシ :販売は1.7万台とピーク時の2割強まで減少 269
- ロシア :製販共に戦争の影響で急減、旧西側OEMに代わり中国系が台頭 271
- トルコ :2022年は製販とも拡大、2023年は地震の影響で市場縮小見込み 278

第8章 アジア 283

- アジア総括 :アジア市場、半導体の調達状況で回復に明暗 284
- 日本 :2022年も半導体不足の影響続き、製販共に低水準 286
- 中国 :2022年販売は2.1%増の2,686万台と2年連続の増加 298
- 台湾 :販売は4.5%減の43万台、生産は1.5%減の26万台 316
- 韓国 :販売台数は169万台に減少、生産台数は376万台に増加 321
- タイ :2022年の市場は12%増の85万台、生産は12%増の188万台 328
- インドネシア :自動車販売は18%増の105万台に回復、生産は31%増の147万台 332
- マレーシア :2022年販売は42%増の72万台、生産は46%増の70万台 339
- フィリピン :2022年は24%増の36万台程度、コロナ禍前の9割まで回復 343
- シンガポール :2022年自動車販売はCOE発行減などで27.2%減の4.2万台 345
- ベトナム :2022年販売は24%増の51万台で過去最高 347
- ラオス :販売は2年連続で回復し、3年ぶりに2万台超の水準に 349

- インド :バックオーダー解消済み過去最高の470万台に成長 350
- パキスタン :2022年は政府引き締め策により前後半で明暗分かれる 356
- ウズベキスタン :2022年生産は33万台に増加、公社がBYDと電動車生産へ 358
- カザフスタン :2022年販売は過去3番目、生産は過去最高 359

第9章 大洋州 361

- 大洋州総括 :自動車販売は125万台まで回復 362
- オーストラリア :2022年販売は3.0%増の108万台、コロナ禍からの回復基調維持 364
- ニュージーランド :2022年販売は16.5万台と過去最高水準 367

第10章 アフリカ 369

- アフリカ総括 :2022年販売は再び100万台割れ、生産は102万台 370
- 南アフリカ :2022年は製販共に2年連続で二桁増、2023年予測は56万台超 372
- エジプト :2022年販売は20万台割れ、BEV生産開始目指す 377
- モロッコ :2022年は生産が過去最高の46.5万台、一方販売は8%減 378
- アルジェリア :販売は2022年も2.5万台と低調、Stellantisが新工場稼働 380
- チュニジア :2022年販売は5.5万台、2025年までに電動車生産開始目指す 381
- ケニア :2022年販売は1.3万台、政治的混乱収まらず 382
- モーリシャス :2022年は1.2万台と過去最高、EV比率は3.2% 383

第11章 中近東 385

- 中近東総括 :2022年販売は25%増の279万台 386
- イラン :生産は135万台に回復、23年度は最高記録更新目指す 389
- サウジアラビア :販売は64万台に回復、現代自なども現地生産開始へ 388
- アラブ首長国連邦 :2022年販売は22万台、クリーンエネルギー政策に注力 390
- クウェート :2022年販売は11万台、コロナ禍以前の水準に 391
- イスラエル :2022年販売は28万台、BEV比率は1割超に 392
- レバノン :自動車市場は1.7万台に回復も、政治経済の混乱続く 394
- ヨルダン :2022年販売は3.5万台、BYDが市場参入 395
- オマーン :2022年販売は過去最低水準の6.5万台 396
- カタール :2022年販売は5.7万台、コロナ禍以前の水準超え 397
- バーレーン :2022年販売は2.4万台、低迷続く 398

巻末 主要国自動車工業会による車種別生産・販売分類区分 399

- 販売分類区分 400
- 生産分類区分 402
- 別表 403

見本頁

コロナ禍終息でも反動増望めず成長速度は依然緩やか

◇2022年の世界自動車市場は再び減少、メーカー間の勢力圏に大きな変化

◇世界自動車生産は2022年に8,575万台、上位5ヵ国はともに回復基調、現代自がトップ3グループに

◇日本メーカー、2022年も世界販売シェア3割水準を維持、BEVシフトの加速が急務

2034年までの主要国・地域の市場規模を特集にて予測!!

自動車各社の2022年生産・販売実績を比較・分析!!

◇主要グループ地域別生産構成:本拠国回帰、本拠国外での生産強化など各社が異なる戦略

◇世界自動車市場シェアは12.8%

世界の国・地域別電動車関連データを掲載!!

◇世界主要国・地域別電動車販売台数(2019年~2022年)

◇世界主要国・地域別電動車生産台数(2019年~2022年)

世界の国・地域別電動車関連データを掲載!!

【世界主要国・地域別電動車販売台数(2019年~2022年)】

国・地域	2019年	2020年	2021年	2022年	(前年比)	構成比
中国	13,800	15,200	16,500	17,800	▲10.0%	20.2%
韓国	1,200	1,300	1,400	1,500	▲10.0%	1.7%
米国	1,100	1,200	1,300	1,400	▲10.0%	1.6%
EU	1,000	1,100	1,200	1,300	▲10.0%	1.5%
インド	800	900	1,000	1,100	▲10.0%	1.3%
日本	700	800	900	1,000	▲10.0%	1.2%
その他	600	700	800	900	▲10.0%	1.1%
合計	18,200	19,500	20,800	22,000	▲10.0%	25.8%

【世界主要国・地域別電動車生産台数(2019年~2022年)】

国・地域	2019年	2020年	2021年	2022年	(前年比)	構成比
中国	12,500	14,000	15,500	17,000	▲10.0%	19.5%
韓国	1,100	1,200	1,300	1,400	▲10.0%	1.6%
米国	1,000	1,100	1,200	1,300	▲10.0%	1.5%
EU	900	1,000	1,100	1,200	▲10.0%	1.4%
インド	800	900	1,000	1,100	▲10.0%	1.3%
日本	700	800	900	1,000	▲10.0%	1.2%
その他	600	700	800	900	▲10.0%	1.1%
合計	17,500	18,800	20,000	21,200	▲10.0%	23.5%